

News Release

従業員のがん検診受診促進制度 「GO TO がん検診」を追加

株式会社グラフィコ（代表取締役社長CEO：長谷川 純代）は、従業員の仕事とがん治療の両立を実現する職場づくりのため、がん検診受診サポート制度を設けています。このたび従業員のセルフメディケーション推進を目的に、がん検診の受診促進に向けた「GO TOがん検診」を新たに追加することをお知らせします。



新制度「GO TOがん検診」概要

がん検診を受診した社員に対して、1回1,000円を「ご褒美」として支給します。検診を頑張った自分へのプチボーナス、検診費用の足しに、など使い方は自由です。制度発足に伴い、社員に対してがん検診についての情報提供を行うなど、がん検診に対する心理的ハードルを下げる活動も同時に実施します。

【実施概要】

- 実施期間：2022年度健康診断時より（2022年11月開始を予定）
- 対象：がん検診を受診した(株)グラフィコで働く全ての社員（派遣社員、パートタイマーを含む）
- 対象となる検診：定期健康診断、自分が住んでいる自治体の検診等のがん検診
- 申請上限：年度内1度まで

新制度導入の背景

現在グラフィコでは、変化する社会のなかで、多様な価値観をもつ社員が活躍でき、企業としても成長できる職場づくりを推進しています。その取り組みの一つとして、がん治療に係るサポート制度を以下のように設けています。

【働き方に関わるサポート制度】

- 私傷病の治療に対する休暇（がん等の私傷病の治療に対し年5日の治療休暇取得可能）
- 私傷病の治療のための短時間勤務（がん等の私傷病の治療のため申請可能）
- 在宅勤務（最大週4日の在宅勤務可能）

【がん検診受診サポート制度】

社員の約70%が女性であることから、若い世代の罹患率が高い「子宮頸がん」「乳がん」の検診費用補助制度を設けています。

●健康診断時のがん検診費用補助

35歳以上、40歳未満に該当する女性社員は健康診断時の「乳房超音波検査」受診費用全額補助

●自分が住んでいる自治体で行っている検診費用の補助

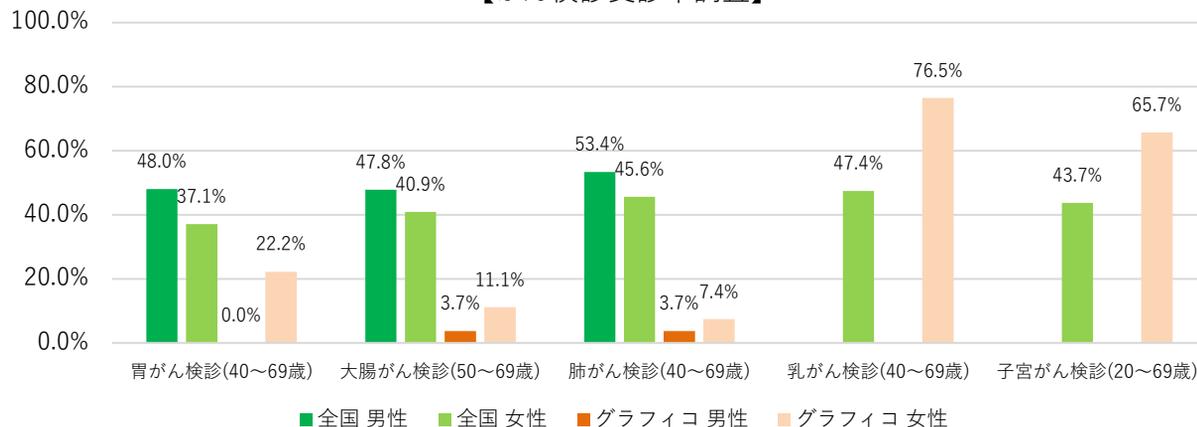
子宮頸部細胞診（20歳以上の女性） 乳房マンモグラフィー（40歳以上の女性）の受診費用を全額補助

【deleteCへの参加】

みんなの力で、がんを治せる病気にすることを目指す特定非営利活動法人deleteC（デリート・シー）の活動に賛同し、2021年1月に開催された「deleteC 2021-HOPE-」よりdeleteCの活動に参加。がん征圧月間である9月に開催される、SNSの投稿や拡散ががん治療研究の寄付につながる「#deleteC大作戦 2022」（期間：2022年9月3日～30日）にも参加中。

このたび上記に加え、がん検診受診を促進する新制度「GO TOがん検診」を発足いたします。国は「胃がん」「肺がん」「大腸がん」「子宮頸がん」「乳がん」の検診受診率目標を50%としていますが、現状多くの項目で目標の受診率を下回っているのが現状です。グラフィコ社内でもがん検診に関するアンケートを実施したところ、子宮頸がん・乳がん検診が全国平均を大きく上回る受診率となった一方で、他のがん検診の受診率は全国平均を大きく下回りました。

【がん検診受診率調査】



出典：2019年国民生活基礎調査

また、アンケートの結果から「特に理由が無い」「後回しにしている、きっかけが無い」「がん検診を知らない」といったがん検診への知識不足や関心の薄さが要因となって受診していない社員が存在することがわかりました。受診率改善に向け、正しい情報提供や受診のきっかけづくりの必要性を認識し、新制度の発足に加えて社員に向けた情報発信も同時に進めてまいります。

【2022年度がん検診受診率目標】

胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診の対象者受診率50%達成

乳がん検診、子宮がん検診の対象者受診率80%達成

■調査背景

がん検診受診補助制度の発足に先立ち、社員のがん検診受診状況を調査するためアンケートを行いました。

厚生労働省においては「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成20年3月31日付け健発第0331058号厚生労働省健康局長通知別添）を定め、市町村による科学的根拠に基づき下記の検診を推進しています。今回のアンケート項目はこの指針に基づいて作成しています。

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回
肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

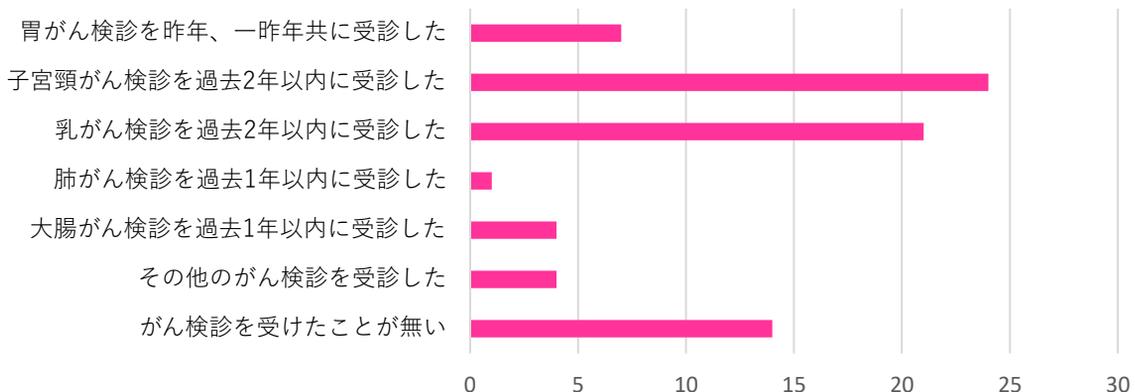
■調査概要

- 調査方法：社内アンケート
- 調査対象：株式会社グラフィコ社員（派遣・パートタイマーを含む）、男女40名、20～60代
- 有効回答数：50
- 調査実施日：2022年8月29日～9月2日

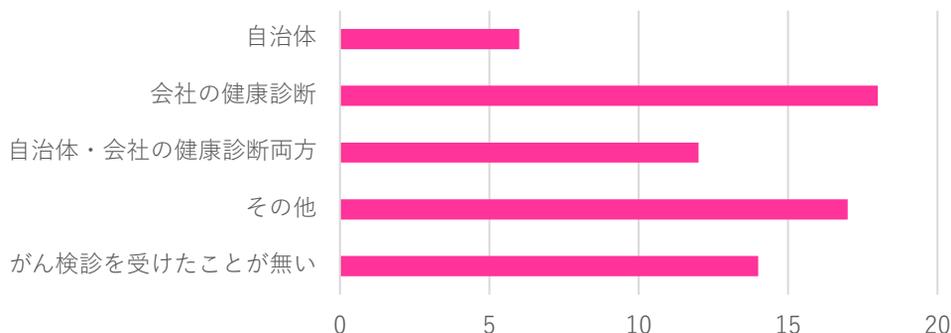
【グラフィコ社員のがん検診受診率は？】

- ・「がん検診を受けたことが無い」と回答したのは**40%**
- ・「子宮頸がん検診」「乳がん検診」を受診した女性社員は**60%以上**
- ・「がん検診を受診したことが無い」理由の1位は「**費用がかかり経済的負担になるから**」
「**特に理由が無い**」

Q1) あなたは、これまでにごがん検診を受けましたか。また、どんながん検診を受けましたか。
(複数回答可)



Q2) Q1で『 受けた』と回答したがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）について、どこが実施した検診を受けたか(自治体、会社の健康診断)を教えてください。(『がん検診を受けたことがない』と回答した方は『がん検診を受けたことがない』を選択してください。複数回答可)



Q3) 『がん検診を受けたことがない』と回答された方に伺います。受けたことがない理由を教えてください。(複数回答可)



グラフィコはSNS投稿や拡散ががん治療研究のエールになる、deleteC大作戦2022に参加しています。



■関連URL

「#deleteC大作戦」特設サイト <https://www.delete-c.com/>

■みんなの力で、がんを治せる病気にするプロジェクト「deleteC」について

特定非営利活動法人deleteCは、個人、企業、組織などの立場を越え、がんを治せる病気になりたい、という想いを自由に意思表示することで、誰もががん治療研究を応援できる仕組みをつくり、がん治療研究への寄付と啓発を通じて、1日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることに貢献します。具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体・自治体・個人が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名からCancerの頭文字である「C」の文字を消し、deleteCのロゴやコンセプトカラーを使うなどしたオリジナル商品・サービスを制作・販売・提供します。購入金額の一部はdeleteCを通じて、医師・研究者が推進するがん治療研究と啓発費用として寄付されます。

会社概要（東証STD:4930）



医薬品、化粧品、日用雑貨、健康食品を製造販売、輸入販売するメーカーです。1996年にデザイン・企画会社として設立。大手化粧品メーカー、食品メーカーなどの商品企画、プロモーション企画、パッケージデザイン、広告コミュニケーションにて培ったノウハウを武器に、2004年に自社商品を発売し、メーカーへと業態転換を行いました。以降、女性向け商品を中心に多くのヒット商品を市場へ送り出しています。

【企業サイト】 www.graphico.co.jp

株式会社グラフィコ 東京都品川区大崎1-6-1TOC大崎16階

報道関係の方からの
お問合せ先

株式会社グラフィコ
広報担当：田邊、合原、山内
TEL：03-5759-5292（直通）
FAX：03-5759-5088
mail：press@graphico.co.jp

お客様からの
お問合せ先

東京都品川区大崎1-6-1
グラフィコカスタマーセンター
TEL 0120-498-177
(平日10:00～16:00年末年始除く)